

日本看護協会、日本医療機能評価機構医療事故防止事業部、
日本医療安全調査機構医療事故調査・支援事業部、
日本医療機能評価機構産科医療補償制度運営部、日本訪問看護財団、
日本助産評価機構が、医療安全に関する最新情報を紹介します。

医療安全トピックス TOPICS

Vol.168

齊藤 早紀子

一般社団法人日本医療安全調査機構
医療事故調査・支援センター事業部

医療事故調査制度に基づく 「医療事故の再発防止に向けた提言」の普及・啓発に向けた取り組み

日本医療安全調査機構医療事故調査・支援センター(以下：当センター)では、医療事故の再発防止に向けて、さまざまな活動をしています。今号では、医療事故調査制度に基づく「医療事故の再発防止に向けた提言」の普及・啓発への取り組みを紹介します。

●事故報告された事例の還元

医療事故調査制度は2015年10月1日に施行され、来年、制度創立10年目の節目の年を迎えることになりました。本制度では「医療に起因し、又は起因したと疑われる死亡又は死産であって、当該医療機関の管理者が当該死亡又は死産を予期しなかったもの」を「医療事故」の報告対象としています。

当センターは、医療機関から院内調査の結果を報告書として報告いただき、その貴重な事例を収集・分析し、「医療事故の再発防止に向けた提言(以下：提言書)」を作成しています。2017年3月に第1号である「中心静脈穿刺合併症に係る死亡事例の分析」を公表以来、現在までに第19号まで公表しています。皆さまは、ご覧いただく機会はありませんでしたでしょうか。

●提言書のテーマ

提言書のテーマは、看護職に関連する「注射剤によるアナフィラキシー(第3号)」「栄養剤投与目的に行われた胃管挿入(第6号)」「入院中に発生した転

倒・転落による頭部外傷(第9号)」「薬剤の誤投与(第15号)」などから、専門性の高い「腹腔鏡下胆嚢摘出術(第5号)」「救急医療における画像診断(第8号)」などまで、多岐にわたるテーマを取り上げています。

また、第1号として取り上げた「中心静脈穿刺合併症」は、公表後も同様の事例報告が依然として多いことから、2023年3月に「中心静脈カテーテル挿入・抜去(第17号)」を第2報として公表しています。

●院内で提言書の内容を実践できるよう工夫していること

提言の実践のために、院内研修などに活用できる「提言書の解説動画」や患者への「説明用紙」、医療従事者への注意喚起に使用できる「ポスター」や「チェックリスト」などをテーマに合わせて作成しています。

チェックリストは印刷して書面として使用できるのはもちろん、電子カルテに取り込んでテンプレートとして使用することも可能です。さらに、WordやExcel形式でダウンロードできるので、医療機関